学校番号	203

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ　改訂版（教育出版）						
副教材等	つどい（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を通して学習します。・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、学習プリント、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。
・音楽の学習は様々な経験を通してこそ価値のある物であり、感性が豊かになります。
・音楽が将来にわたって、皆さんの心の支えと成り、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本や外国の歌曲を歌う	【歌唱】 ソルフェージュ　日本、外国の歌曲の独唱	○	○	○	○	a:自分の声の特徴を活かして、豊かな表現に努めたか。・歌詞の意味を理解し、より美しく歌おうとしている。 b:楽曲にふさわしい豊かな表現を工夫し、表現方法を追究しようとしている。 c:楽曲構成を把握し、リズム、フレーズなどを正しく表現できる。 d:楽曲の特徴をつかみながら、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	創造的な表現	【創作】 童謡の伴奏付け	○	○	○		a:童謡にふさわしい伴奏付けに意欲的である。 b:童謡のメロディーやフレーズにふさわしい伴奏を創造的に工夫している。 c:童謡の伴奏付けをするための理論、記譜法や演奏技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	弦楽合奏	【器楽】 ヴァイオリン ヴィオラ チェロ	○	○	○		a:弦楽合奏の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c:弦楽合奏をするために弦楽器の基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取 観察

2学期	豊かなハーモニーを作る	【歌唱】 混声合唱曲を歌う	○	○	○	○	a:各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしい合唱表現をしようとしている。 b:各パートの重なりや音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら音楽表現を工夫している。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し、楽曲にふさわしい音楽表現になるように工夫している。 c:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するための技能を身につけ、創造的に表現している。 d:各パートの役割や音の重なり方、演奏者による表現の特徴やよさを味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた表現活動に生かしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブル	【器楽】 さまざま楽器形態による アンサンブル	○	○	○		a:楽譜を見て、音高やリズム、フレーズなどに関心をもち、意欲的に演奏をしている。 b:他のパートの演奏を聴きながら、美しくアンサンブルできるように、音色やタイミング、音のバランスに注意して演奏表現している。 c:より美しいアンサンブルをするために、音色を追求し、他のパートとのバランスに注意しながら表現することができる。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	ギター演奏	【器楽】 ギター弾き歌い	○	○	○		a:基礎練習を丁寧に行い、一つ一つの課題に前向きに取り組み、努力をしている。 b:伴奏のパターンを聴き取って理解し、スムーズなコード進行を意図している。 ｃ:ギター伴奏パターンの手法を生かして、曲想にあった伴奏を演奏することができる。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	歴史に残る名曲・名演	【鑑賞】 交響曲など	○			○	a:様々な作品の文化的・歴史的背景に関心を持ち、意欲的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 d:様々なの特徴や作品・演奏の文化的･歴史的背景、社会の状況などを理解し、創造的に味わって視聴している。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。